

A0572

183系-100・1000 グレードアップ旧あずさ色
特急あずさ 9両セット

予価:39,000円(税別)

JANコード:105849 カートン内入数:12

A0589

183系-0・1000・189系 特急しおさい 8両セット

予価:38,000円(税別)

JANコード:135242 カートン内入数:12

商品形態 Nゲージ塗装済完成品(素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 ブックケース入り)

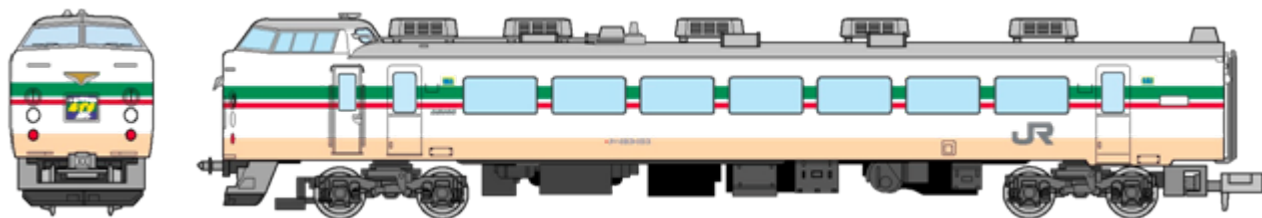
実車

1972(昭和47)年、房総東線(外房線)の電化開業と総武快速線の東京地下駅開業と同時に特急「わかしお」「さざなみ」が新設され、183系0番台で運転が始まりました。1975(昭和50)年には特急「しおさい」「あやめ」も増設されました。上越線の特急「とき」には0番台を改良した183系1000番台が1974(昭和49)年から運用を開始、中央線の特急「あずさ」も183系1000番台へ置き換えることとなりました。1985(昭和60)年3月ダイヤ改正で短編成化を行うことが決まり不足する先頭車はサハ489・サハ481を先頭車化改造しクハ183-100番台及びクハ182-100番台等の形式が加わりました。高速バスに対抗するため車両をグレードアップした「あずさ」が改造により登場し、指定席車の側面窓が上方向へ100mm拡大され外部塗装も変更されました。183系1000番台に横軽通過対策を施した189系が1975(昭和50)年に登場し信越線の特急「あさま」に使用されました。上越・長野新幹線の開業により183系・189系の運用が少なくなり廃車、転属が繰り返され幕張電車区にも189系(グレードアップ改造車)が配属されて183系と編成を組むようになりました。

商品概要

- ・マイクロエース特急電車シリーズの更なる充実
- ・ヘッドライト、テールライト、前面表示器点灯。LED使用(ON-OFFスイッチ付)
- ・フライホイール付動力ユニット搭載

白+ベージュのボディに緑+赤の帯



JR東日本商品化許諾済

- ・サハから改造された先頭車2種からなる編成
- ・グレードアップ(大窓)車6両、原形車3両

編成図 A0572

クハ183 -103	モハ183 -1054	モハ182 -1054	サロ183 -1110	モハ183 -1031	モハ182 -1031	モハ183 -1056	モハ182 -1056	クハ182 -102
ライト				(M)				ライト
G-UP	G-UP	G-UP	G-UP	G-UP	G-UP			
←松本								新宿・千葉→

クリームと赤の国鉄特急色



- ・先頭車は0番台、中間車は183系1000番台と189系から構成される編成
- ・中間車は全てグレードアップ(大窓)車

JR東日本商品化許諾済

編成図 A0589

クハ183 -39	モハ189 -16	モハ188 -16	モハ189 -47	モハ188 -47	モハ183 -1031	モハ182 -1031	クハ183 -18
ライト				(M)			ライト
	G-UP	G-UP	G-UP	G-UP	G-UP	G-UP	
←銚子							東京→

オプション

幅広室内灯:G0001/G0002/G0003/G0004, マイクロカプラー密連・黒:F0001

付属品

行先シール